

# 丸山湿原群保全の会会報

(第 226 号)

発行日：2026 年（R8）6 月 17 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会  
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail：[maruyamashitugengun@gmail.com](mailto:maruyamashitugengun@gmail.com)**戦争は最大の環境破壊と、差別を生み出します**

梅雨の時期を迎えクリの花が満開。独特の鼻を突くような「匂い？臭い？」が漂っています。私はちょっと苦手な匂いです。花期は品種にもよりますが約 2 週間ぐらいでしょうか。クリがたわわに実するためには必要な匂い。受粉に必要な、虫をおびき寄せる戦略。（品種改良のたまもの？）

研究者が草原のある植物に来る昆虫（送粉者＝ポリネーター）を調べていたところ、栗の花が咲きだしたタイミングでその植物に全く来なくなったことがあるそうです。植物の種類にもよるとは思いますが、それほど他を圧倒する匂い。

一方、材は固く水にも強い。昔から家の基礎や鉄道の枕木に使われてきました。武田尾廃線跡に今も残る枕木もクリか。残っている（まだあるよな？）ことで歩きにくいですが腐らないことに驚きます。

枯れた大きな栗の木を伐ったことがあります。すがとにかく重い。処理をしようにも、燃えにくく腐りにくいのでいつまでも残っています。輪切りにして「まな板」にできるかと思いましたが中に穴が。それもなかなか味わい深く、花台として活躍？しています。時には鍋敷きにも。巻き割台としての活用が一番かな？薪割らんし…。



クリの花 なぜこんなに咲くのでしょうか？

クリは西谷でもよく栽培されています。接ぎ木なども結構楽しい？ようです。「西谷栗」としてブランド化されていた時代もありました。（今もか？）自家消費するのなら、1 本あれば十分。出荷となればきつい斜面を這いつくばるように収穫することも。大変な作業です。しかも泥棒が頻繁に出没。自然に生えてるものと思われるようです。

人とは不思議（当たり前か）な生き物で、栗に限らず、栽培すると質よく沢山実って欲しくなる。肥料、農薬の出番となります。理解できます。ただ、ほかの生き物にも少し優しく栽培できたらと思う今日この頃です。

(今住 6 月 15 日作成)

## 定期活動・愛す会との協働

★5月24（日）なんと第2湿原斜面にチャレンジ！

愛す会からは 4 名！会員 7 名 計 11 名出作業

延期になっていた「北摂里山愛す会」との協働。昨年度末の活動予定がもろもろの都合でこの日に。何度も書きましたが、「愛す会」は北摂里山博物館運営協議会が主催する「北摂里山大学」卒業生が作った団体。卒業生はそれぞれ別の活動フィールドに所属している人もいれば、フィールドを持たず「お助けマン」として活躍している方もおられます。うちの会にも卒業生が 5 名。私は残念ながら卒業生ではありません。しかもこの日は急な用が入り参加できず。





何が何か全くわからないが、作業前の展望台下



貧弱な松が見えています 作業後 頑張る姿も

付近から帯状に水辺まで藪が片づけられました。えらい！すごい！同じ所とは思えない。（写真参照）地元のおじさんたちからしたら「お遊び」に見えるかもしれませんが…。

ただ、「里山大学」卒業生の仕事としては疑問符が付くかも。伐った木は出来るだけ細かく、早く分解するように「刻むこと」と学習したはず。今回は伐り倒すのが精一杯。「そんなことまでやってくれるか！」と怒られました。（あくまで参加していません！）普段も伐り倒してカサを低くする程度。地道にやる方もおられますが。森林組合の作業でもそんなことはしてませんものね。効率考えたら当たり前のこと。何を優先するか、現場によって違って来るはず。

細断はあくまでも、基本的な考え方としての作業。道路があれば「エンジンチップパー」なるものでチップに。でも機械が高いのよ。山でそんなことしてられないし。とにかくご苦労様でした。

締めは御殿山マダムのふるまい。「水ようかん！」しかも手作り。なんとなんと、「みたらし」といい2回も逃してしまいました。「手作り」という言葉にはなぜか執着してしまいます。なんでやろ？愛に飢えているのかも？



また、食べそびれた おもてなし

## 小学校環境学習 ★5月25日（月）西谷小学校環境学習① 座学 ワンオペ！

保育園に続き、こちらもありました。「宝塚市立西谷小学校」3・4年生環境学習。少し早く学校をのぞいてみると「誰もいない」???日にちを間違えた?と焦っていると中学校のグラウンドから元気な声が。向かいます。確か「総合の環境学習」の前は全体体育と聞いていました。中学校のグラウンドで全校生徒が運動会の練習をしています。全校生徒とはいっても人数は30人?ほど。「ふれあい運動会」として、中学校・こども園も一緒に行われています。

全学年複式学級。その児童が全員で2つのチームに別れ「段ボールを裏返す競技」をしています。どのようなゲームなのか後で聞いてもよくわかりませんでした。ま〜よろしい。ほんわかとした、なかなかいい感じの競技でした。いわゆる「縦割り」の良さが垣間見れました。「特認校」にも指定され、宝塚市内どこからでも入学できるそうです。アクセスの問題が常につきまといいますが。「バカロレア教育」を実施することにも決まっているとかいないとか?「なぜ?」「どうなっているの?」を自分で調べて課題解決していく教育らしい。「丸山湿原」は「なぜ?」の宝庫。バカロレアに向





違いを探せ！オオキンケイギク昨年と今年

円以下の罰金もしくは3年以下の拘禁刑」となっています。「ひえーおれ罰金や！」

今年は昨年と今年の比較から。香下のほぼ同じ位置からのスライドで何が違うかを探しました。「車が違う」ま〜正解。「家がない」車に隠れているだけ。「一番奥の花がない！」それよそれ。「なぜないのか？」これも知っちゃかめっちゃかな答え満載。「誰かが抜いた」という答えがあったかな？真相は、ロードバイク（カッコいい自転車）を止め、バリバリスタイリッシュな服装にヘルメットをかぶった方がひとり、黙々とオオキンケイギクを引き抜いたのです。たまたまその現場に車で遭遇。残念ながら手伝いはしませんでした。それが法的にどうなのかは？？？ですが感動しました。たったひとりの行動ですが心をざわつかせる何かがありました。

オオキンケイギクほ以外の身近な特定外来生物（ウシガエル）や、条件付き特定外来生物（アメリカザリガニ・アカミミガメ）についても説明。アカミミガメを飼っている児童もいました。「最後まで責任をもって飼いましょう」とお話したような。



殺すか、すぐ放すか ウシガエル 特定外来生物



ちゃんとやってます 面白いかは？？？



湿原を象徴するハッチョウトンボ スライド

その後はメインの、丸山湿原で見ることのできる生き物のお話。「特定外来生物」がいるはずがないのですが、いるんです。アライグマが…それも丸山湿原内撮影の動画で紹介。困りもののシカ。ストップモーションのイノシシなどなど。

もちろん湿原ってなんや？なども考えてもらいました。

丸山湿原でのフィールドワークは6月16日（火）の予定だったのですが、クマが近隣にハイキングに出てきたということで延期。24日に実



かわいいんだな〜 でもね〜 頑張って食べましょう 施予定です。湿原ならではの生き物が見られればいいのですが、自然相手。残念、とならないことを祈ります。葉っぱ食べて「もうお腹いっぱい」になりますかね〜。



**定期活動** ★6月13日(土) 基礎調査 観察 会員9名

| 目的                      | 市内  | 市外  | 場所   | 時間    | 気温【水温】     | 電気伝導 (EC)       | PH  |
|-------------------------|-----|-----|------|-------|------------|-----------------|-----|
| 丸山                      | 62  | 51  | 入口   | 10:00 | 24.9       |                 |     |
| ハイキング・登山                | 100 | 142 | 第3湿原 | 10:40 | 27.3【25.4】 | 41.6 $\mu$ S/cm | 6.8 |
| 散歩                      | 11  | 12  | 視点場  | 10:59 | 28.6【29.1】 | 31.1 $\mu$ S/cm | 5.9 |
| 来場者数計 378人<br>(竹筒ポスト集計) |     |     | 第1湿原 | 11:14 | 30.3【23.6】 | 42.5 $\mu$ S/cm | 6.1 |
|                         |     |     | 第2湿原 | 11:45 | 28.8【25.7】 | 39.7 $\mu$ S/cm | 6.3 |

今回はクマ騒動あり慎重に活動？普通にうだうだしゃべりながら歩いているだけですが。クマは武庫川を渡り西宮方面へとの情報。今頃は甲山あたりから六甲山に向かっているかも。

ずっと昔にもそこら中ウロウロ(武田尾あたりにも)してたと思うのですが「神戸市初確認」との報道。あの時は行ってなかったのかな～。兵庫のクマはアーバンベアにはなっていないそうで、クマ鈴や話し声が十分抑止力になるといわれています。活動は集団で動いているのでまず大丈夫。

エントランスの道を進みます。5月初めに気になった赤い棒杭。まだあるかな？なんの杭かは言いません。近いうちに撤去されることを願います。抜かれなかったりして…。



咲き始めのツチアケビ 毎年大株です

間、きょろきょろすると、地味ではありますがイガタツナミソウ(伊賀立浪草)が。タツナミソウはややこしいので間違いかも。数の少ないササユリ(笹百合)は終盤。

湿原へ向かいます。第3湿原でノハナショウブ(野花菖蒲)がひ

とつだけ咲いていました。沢山咲くのもいいですが、凛と咲くのもいい。少し養分を必要とする植物なので増えすぎるのも危険信号。心配しなくても昨年はあそこ、今年はここと神出鬼没に咲いています。(主に第3湿原)



ノハナショウブ 紫がいい



画像が荒いがハッチョウトンボみ未成熟

た。第4湿原にも。カキラン(柿蘭)が咲き始め。コバノトンボソ

ウ(小葉の蜻蛉草)も開花。第4湿原から戻るとき何やら黄色い花を発見。「ブタナ(豚菜)」です。

タンポポそっくりですが花が高い位置に咲く植物。背の高いタンポポと思ったらブタナを疑ってください。一面に広がります。(要注意外来生物)以前にも1度だけ第2湿原で見つけたことがあります。もし見つけたら根から処理してください。



タンポポにそっくり 要注意外来生物

**総会予定** 7月11日(土) 13:30~15:00 西谷会館会議室 決定遅くなりました。

次回活動日 6月28日(日) 7月11日(土) (午後総会) 26日(日) 8月8日(土) 23日(日)